

名古屋港水族館

指定管理者運営モニタリング結果（年度評価）【令和元年度】

1 施設の概要

施設名	: 名古屋港水族館
所在地	: 名古屋市港区港町1番3号
設置根拠	: 名古屋港水族館条例
設置目的	: 水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、住民の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに健全な余暇の活用に資するため
施設概要	: 名古屋港水族館

2 指定管理概要

指定管理者名	: 公益財団法人 名古屋みなと振興財団
指定期間	: 平成26年4月1日から令和4年3月31日まで

3 利用状況

区分	令和元年度		平成30年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
名古屋港水族館 (人)	2,320,000	2,001,243	2,210,000	2,105,406	-104,163

※計画値とは、指定管理者を選定する際に提出された計画値を指します。

4 収支状況

(単位：千円)

区分	令和元年度		平成30年度		増減①-②
	計画値	実績値①	計画値	実績値②	
収入	2,504,000	2,291,300	2,387,000	2,349,065	-57,765
利用料金	2,464,000	2,242,532	2,347,000	2,279,222	-36,690
指定管理料	0	0	0	25,000	-25,000
その他	40,000	48,768	40,000	44,843	3,925
支出	2,436,000	2,245,106	2,325,000	2,173,379	71,727
収支差	68,000	46,194	62,000	175,686	-129,492

5 モニタリング結果

(1) 総合評価

評価	評価内容
A⁺	メディアで話題を呼んだ特別展等のイベントの実施、TVCMやSNS等を活用した積極的な広報宣伝活動を行い利用促進に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館したが、入館者数が開館以来初の3年連続200万人を越えた。

(2) 区分ごとの評価

区分	評価	評価内容
基本項目	A	平等な利用の確保、法令遵守など、本組合の求める水準で運営が行われている。
施設の適正な管理	A⁺	鯨類の順調な成長や極地ペンギンの人工繁殖等に成果を上げ、ウミガメに関する教員向けの講演や児童向けレクチャーを複数回実施するなど、水族飼育管理・教育普及等水族館の役割を十分に果たしている。また、施設の老朽化に対応した積極的な修繕を実施するなど、適切に管理している。
サービスの維持・向上	A⁺	メディアで話題となった特別展の開催や各種企画展、海洋文化普及の為の教室を開催し好評を博している他、TVCMやSNS等による積極的な広報活動を行い、来館者サービスの向上に努めている。
運営等の安定性	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館したが収支差益があった。人員配置、再委託についても適切に行われ、人材育成にも取り組んでいる。

【評価の基準】

- S : 本組合の求める水準を大幅に上回る水準であり、模範的な施設運営がなされている
- A⁺ : 本組合の求める水準を上回り、事業者の提案を含めた協定書の水準
- A : 概ね期待どおりの水準（業務仕様書の水準）
- B : 一部分を除き、概ね期待どおりの水準
- C : 本組合の求める水準と比べて不十分

(3) 今後の対応等

本組合の求める水準を上回る取組も行われていることから、今後もこの管理水準を維持されるとともに、利用者数の拡大などの目標が達成されるよう指導を行っていく。

6 利用者からの反応

イルカパフォーマンスは最も人気であり、シャチのトレーニングも好評であった。「くらげなごりうむ」や各種ペンギンの人気も高い。幅広い年齢層から高い満足度が得られている。

7 その他

特になし

○ 問い合わせ先

名古屋港管理組合 港営部港営課（水族館事業担当）

電話：052-654-7868 ファクシミリ：052-654-7829

メールアドレス kanren@union.nagoyako.lg.jp